

工具リスト 差込資料

【リリース 1.06】から工具リストが追加になりました。

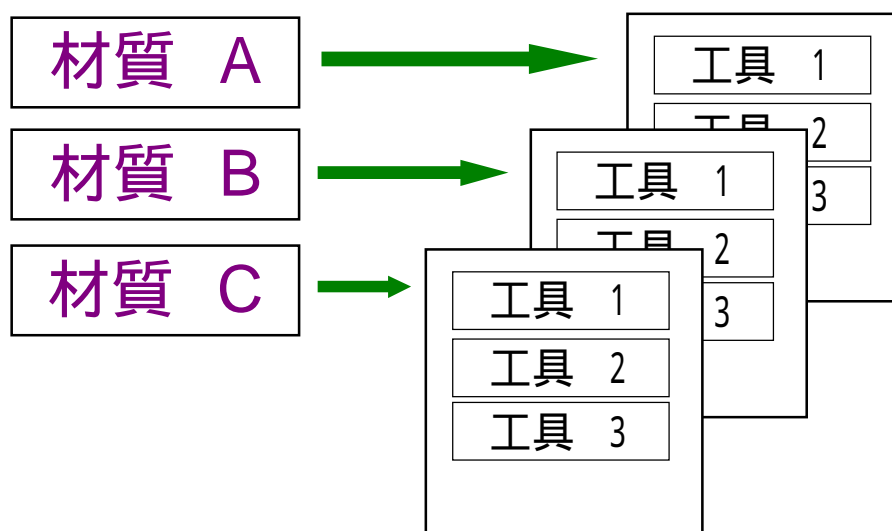
1. 工具リストについて

2D、2.5D、穴加工の加工指示をするにあたり、お客様独自の工具名称や、材質別の工具情報（工具径、回転数、送り速度など）を事前に工具リストとして登録しておくことができます。工具リストとして登録しておくことで、加工指示をする際に登録してある工具を呼び出すことが出来るようになります。



初めて使う工具を加工指示の前にその都度登録して、徐々に登録データを構築して行くこともできます。

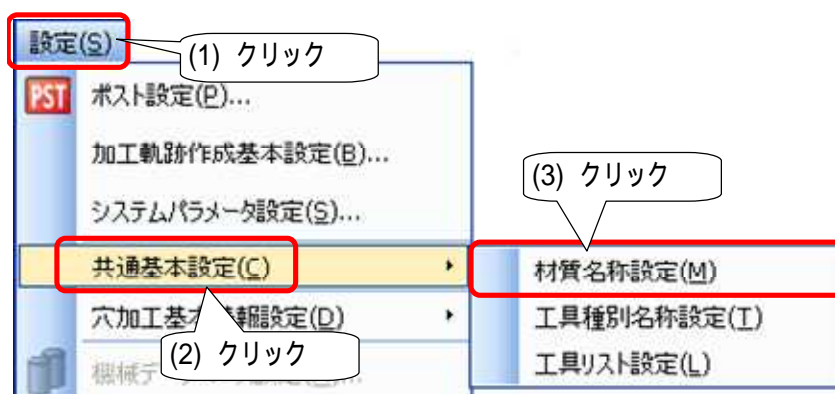
材質ごとに工具情報のリストを作成



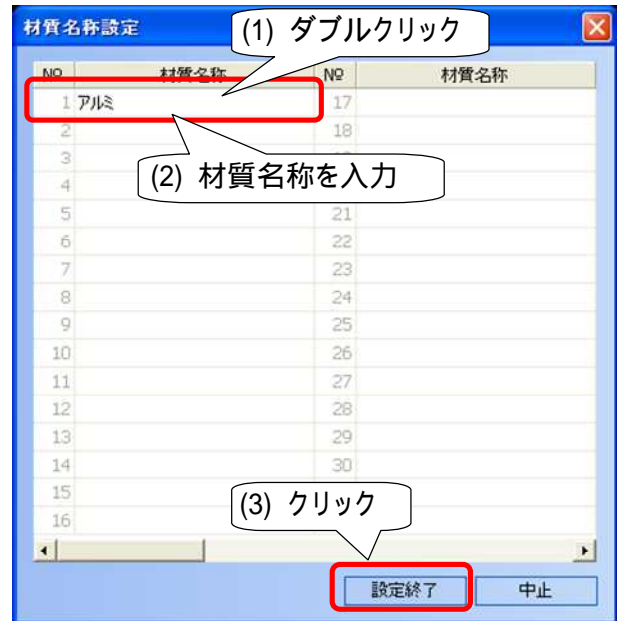
1.1 材質名称の設定

材質名称を設定します。

【設定】メニュー > 【共通基本設定】 > 【材質名称設定】をクリックします。



「材質名称設定」画面が表示されるので、材質名称を設定し、**設定終了** をクリックすると、設定内容が保存されます。

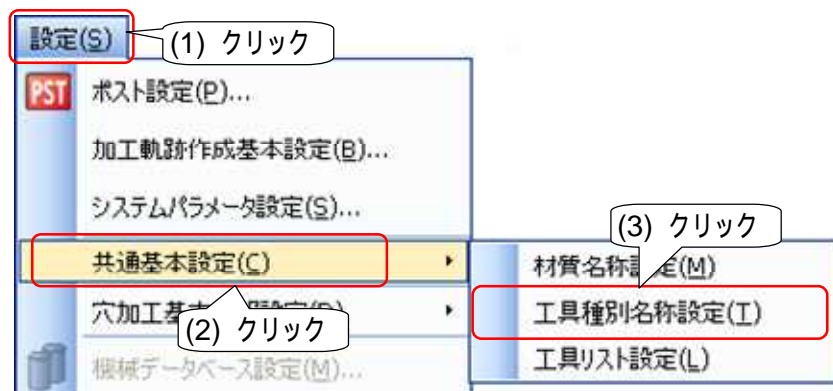


! 材質名称は、最大100個まで登録できます。

1.2 工具種別名称の設定

工具の種類名称と属性を設定します。

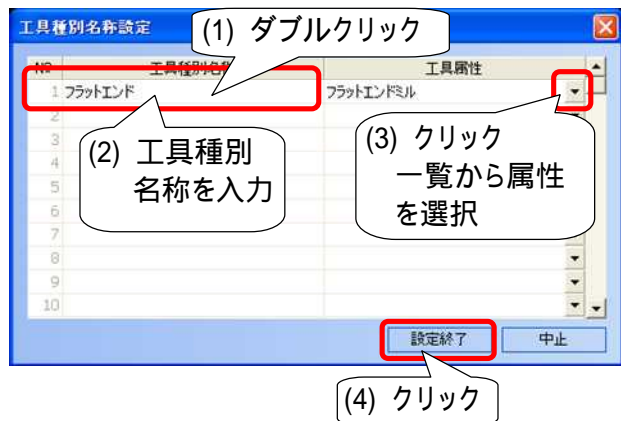
[設定]メニュー > [共通基本設定] > [工具種別名称設定] をクリックします。



「工具種別名称設定」画面が表示されるので、工具種別名称を設定します。

工具属性は **▼** をクリックして表示される一覧から、工具種別名称に対応する属性を選択します。

工具種別名称と工具属性を設定したら **設定終了** をクリックすると、設定内容が保存されます。

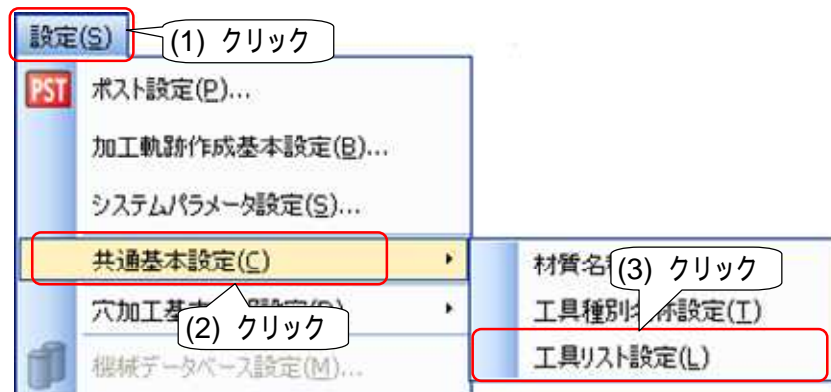


! 工具種別名称は、最大128個まで登録できます。

1.3 工具リストの設定

使用する工具の名称、種類、工具径、回転数、送り速度などを材質別に設定（登録）します。

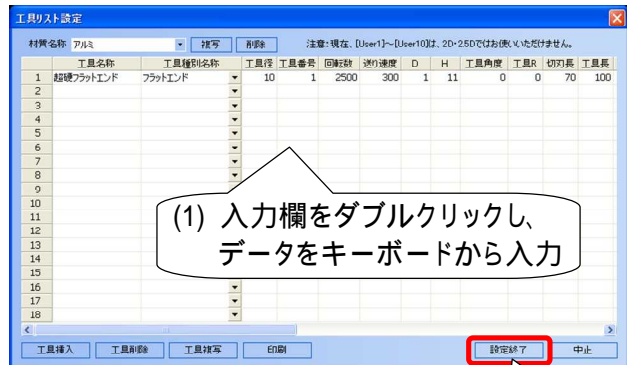
[設定]メニュー> [共通基本設定]> [工具リスト設定]をクリックします。



「工具リスト設定」画面が表示されるので、工具名称など各項目を設定します。

工具種別名称は ▼ をクリックして表示される一覧から、工具に対応する種類名称を選択します。

各項目を設定したら **設定終了** をクリックすると、設定内容が保存されます。



材質名称

現在選択されている材質名称が表示されています。別の材質名称に変更する場合は、▼ をクリックし、表示される一覧から材質名称を選択します。

工具名称

使用する工具に任意の名称を設定します。空欄とした場合は、工具種別名称が工具名称として設定されます。

工具種別名称

工具の種類名を選択します。

工具径

使用する工具の直径を設定します。

工具番号

使用する工具の番号を設定します。

回転数 (rpm)

工具の回転数を設定します。

送り速度 (mm/min)

工具のXY方向の送り速度を設定します。

D

工具の径補正番号を設定します。

H

工具の長補正番号を設定します。

工具角度

工具の先端角度を設定します。

(工具属性：ドリルノーズ、リーディングドリル、コーナー面取り)

工具R

工具のRの値を設定します。

(工具属性：ボールエンドミル、ラジアスエンドミル、コーナーラウンディング)

! 工具Rに入力する値は、工具によって異なります。

ボールエンドミル	ラジアスエンドミル	コーナラウンディング

上記の工具を登録する際に「コーナーR」を「0」と設定し **設定終了** をクリックすると、Rを入力するようエラーメッセージが表示されます。
ボールエンドについては、工具半径をコーナーRとして自動設定します。

切刃長

工具の有効長（切削可能な部分の長さ）を設定します。

工具長

工具の長さを設定します。

User1 ~ 10

この工具のみ出力したいコードがある場合に設定します。

工具挿入

選択している工具の前に、1行挿入します。

工具削除

選択している工具の行を削除します。

工具複写

選択している工具の次の行に、同じ内容の工具を複写します。

印刷

現在表示している工具リストをプリンタへ印刷出力します。

! User1 ~ 10は、穴加工でのみ使用します。2D/2.5Dの場合は、工具を選択してもUser1 ~ 10に設定されている値は反映されません。

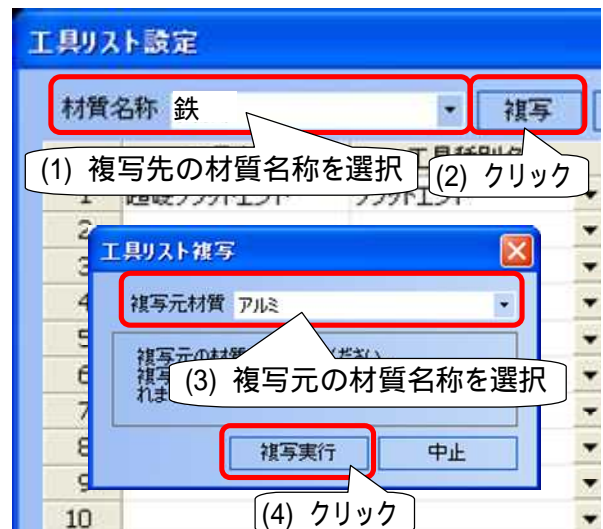
複写

既存の工具リストを、現在表示している材質の工具リストに複写します。

- (1) 複写先の材質名称を選択
- (2) **複写** をクリック
- (3) 「工具リスト複写」画面が表示されるので、複写元の工具リストを選択し **複写実行** をクリック

削除

現在表示している材質の工具リストを削除します。



並び替え

工具を並び替える場合は、並び替えたい項目名をクリックします。

クリックするごとに、昇順 / 降順と並び変わります。



工具名称：数字 アルファベット ひらがな の順に並びます。

工具種別名称：工具種別名称設定で設定した順に並びます。



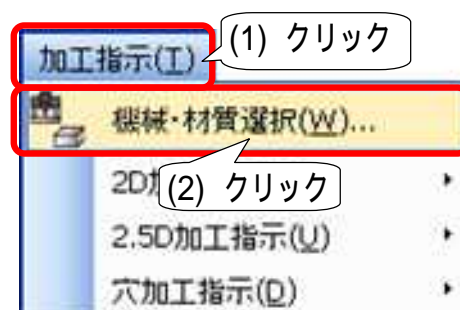
工具リストは、1つの材質に対して最大1024本の工具を登録することができます。

1.4 登録工具を選択する

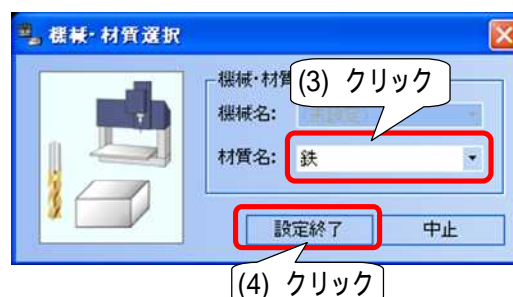
加工指示の工具設定画面で、登録した工具リストから工具を選択します。

[1] 材質の選択

[加工指示]メニュー->[機械・材質選択]をクリックします。



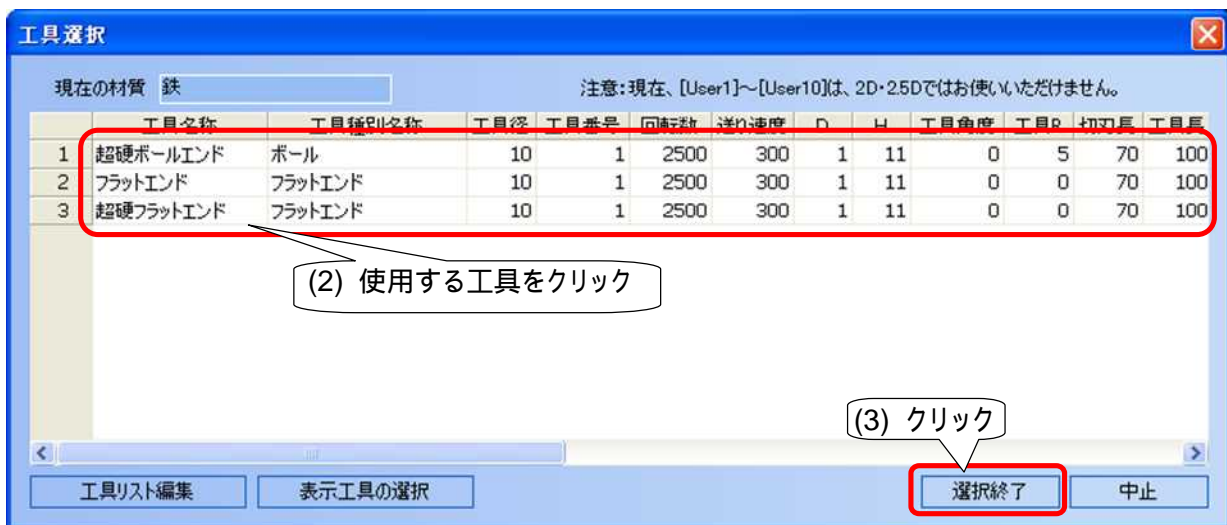
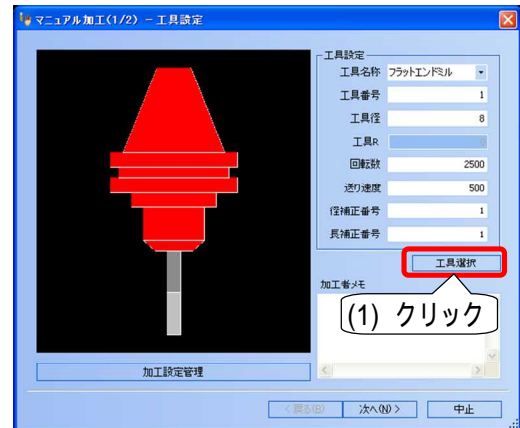
「機械・材質選択」画面が表示されるので、一覧から使用する材質名称を選択し、**設定終了** をクリックします。



[2] 工具を選択する

加工指示の際に表示される「工具設定」画面で、**工具選択** をクリックします。

「工具選択」画面が表示されるので、一覧から使用する工具を選択し、**設定終了** をクリックします。



現在の材質

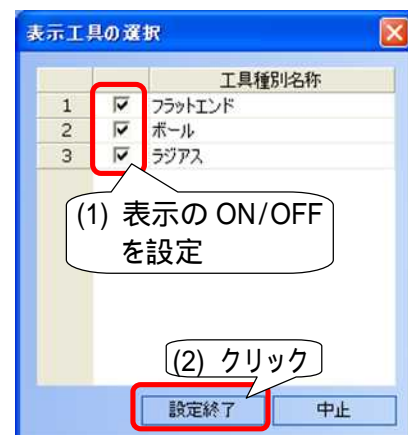
現在選択している材質名が表示されます。選択している材質を変更する場合は、**[機械・材質選択]**画面で材質名称を選びなおします。

工具リスト編集

「工具リスト設定」画面を表示します。使用する工具が登録されていない場合や、登録内容を修正したい場合は、ここから編集を行います。

表示工具の選択

「表示工具の選択」画面を表示します。加工指示の際に使用可能な工具種別名称が一覧で表示されます。工具種別名称の にチェックが入っている工具のみが「工具選択」画面に一覧表示されます。





加工方法により選択可能な工具は異なります。

加工方法	使用可能な工具属性
2D	フラットエンドミル、ボールエンドミル、ラジラスエンドミル、コーナー面取り
2.5D(等高線)	フラットエンドミル、ボールエンドミル、ラジラスエンドミル
2.5D(その他)	ボールエンドミル
DR	使用する選択工具と、「工具種別名称」「形状属性」が一致するもの



穴加工手順定義を作成する際も、工具リストから使用工具を選択して手順を作成することが可能です。ただし、穴加工手順を登録後、手順に登録した工具の条件を工具リストで編集した場合、変更内容は穴加工手順の工具設定値には反映されません。

工具リストで工具の条件を変更した場合は、その工具を使用する穴加工手順で、工具リストから工具を改めて選択してください。